

一般 質問

令和7年 9月定例会



空き家の活用取り組んで

高橋 徹 議員



空き家バンクに登録の家

Q 空き家対策について
町内には多くの空き家が存在している。私はこの町内に残る古民家も財産と考える。
町ではセミオーダー住宅など、新築住宅に対する支援を行っている。需要もあり素晴らしい取組かと思うが、空き家などの今あるものをどう活用していくのか、早急に考えていく必要があると感じている。
町は、空き家に対してどのような考えを持っているのか。

A 適切な支援が必要
町長 塚原隆昭
現在日本国内においても、年々増え続ける空き家は社会問題となっており、背景には少子高齢化、人口減少、相続、老朽化など様々な問題が絡んでいる。
放置された空き家は、景観の悪化、悪臭や害虫の発生源、犯罪のリスクを高めることもあり、課題と認識している。所有者の希望があれば、有効活用ができるよう適切な支援を行う必要があると考えている。

Q 空き家の現状把握
空き家の数や状態などの情報に加え、持ち主の思いや考えを知り、汲み取っていくことが重要だと考える。
地区ごとの協力体制など、町民と一緒に問題解決をしていくことが、これからの飯南町に必要なことだと考える。
空き家バンクに登録されていない多くの空き家に対し、町からアプローチしていく考えはないか。

Q 町営飯原球場の整備を
2030年国民スポーツ大会のソフトボール予定地として飯原球場があるが、球場内外の整備が必要と考える。
飯南高校野球部の活動、町内小中学校の活動、町民の利用もある。その中でも近年の飯南高校の活躍は、町民の皆様にもいい影響を与えていると感じる。
整備計画と今度の方針について問う。

A 計画的な整備を

教育長 大谷 哲也

内外野の土の入れ替え、防球ネットの整備、トイレのバリアフリー化、倉庫設置などの計画的な整備を必要な金額などを把握して進めていく。
大会運営に町を挙げて万全を期していきたい。

事業見直しは効果的に

平石 玲児 議員



庁舎内

Q 財政健全化と新規事業同時に

税収が伸び悩む中、社会保障費の増加や老朽化したインフラの維持が大きな課題だ。
これに対処するため「ビルド&スクラップ」という考え方を導入すべきだ。これは、既存事業を見直し、その結果生まれた資金を新たな事業に投入する手法だ。従来の「スクラップ&ビルド」という手

法では、既存事業の見直しは不十分で、効果が薄い事業が続いていて、限られた資源を新たな施策に振り向けることが難しくなっている。この手法で、より重要な施策に資源を集中し、効率的に財政を運用できると考える。
「ビルド&スクラップ」の考え方に基づき、既存事業の見直しはどのように進めるのか。また、町民に対し財政状況や新規事業、既存事業の見直しについて、町長自身が説明してはどうか。

A 事業見直しを進める

町長 塚原隆昭

限られた財源を効率的に活用するために、既存事業の見直しを進める。
また、事業の見直しや廃止が住民生活へ影響することに配慮し、町民に対して財政状況や事業内容を広報すると共に、町民との意見交換の場を増やし理解を深める。

Q 改正鳥獣保護管理法への対応は



クマの出没が増加し、迅速な対応を可能にするために鳥獣保護管理法が改正され、市町村長の判断で発砲できる「緊急銃猟」が導入された。猟友会の高齢化が進む中、体制の見直しが必要だ。
ハンターが安全な駆除活動ができる体制づくりが重要だ。改正法に基づいたガイドラインの実行で、ハンター自身の安全、市街地での発砲の際の安全確保ができる。

A 安全管理体制強化する

町長 塚原隆昭

これまでと同様に、県へ人員の派遣を要請し、クマの捕獲技術指導や、道路封鎖、住民の避難誘導など、安全管理において支援してもらう。
猟友会、県、警察と連携して研修会を実施し、机上演習や実地訓練を重ね、知識と対応力の向上を図る。
職務としての免許取得は、慎重に対応する。